

## 1. 評価者訓練：

### 「業績向上と部下の成長を実現する、対話～フィードバック、そして評価への流れづくり」

#### <プログラム設計趣旨>

人事制度の運用の中でも評価制度は核となるものですが、評価には上司部下間の価値観の相違や、客観性の不足など難しい問題が付随し、上司部下双方にとり、なかなか納得度の向上につながらないばかりか、モチベーションの低下さえ引き起こしがちです。

現行の人事制度の抜本的な見直しが必要なケースも多々ありますが、現場で応用が利くやり方で改善できる余地もまたあります。それは、「昇給・賞与や昇格のために評価する」ことから「部下の成長を支援する積み重ねの結果として評価がある」という視点への転換によるものです。日常での気づきをタイムリーにフィードバックし、部下のつまずきの理由を探り、業績向上と部下の成長を支援することに焦点を当てます。

#### <目的>

部下指導や人事評価についての管理職のお悩みを軽減し、より良い職場づくりと部下の成長、業績向上につながる実践的なやり方を身に付けていただくこと。

#### <進め方>

##### ① 事前打ち合わせ

クライアント企業様の人事制度概要及び運用上の問題点や管理職のマネジメントスキル面での課題についてのヒヤリングと意見交換を行います。これに基づき、研修の設計を行いご提案いたします。

##### ② 研修実施

以下の基本モジュールをベースに取捨選択し組み立て、実施します。

「人事評価の問題点」、「部下との対話」、「内発的動機付け」、「コミュニケーションシートの活用」、「フィードバック」等

##### ③ オプション：上司と部下の思考特性の違いを理解し、より良いコミュニケーションやチーム作りに生かす「効き脳診断<sup>®</sup>」（有料）を事前実施されるとより効果は高まります。この場合、「効き脳診断解説」モジュールが加わります。

#### <実施形態・準備事項>

1日（6～8時間）を想定（組み込むモジュールにより増減）しています。

「効き脳診断」を実施する場合は、開催日の1週間前までに診断の実施を終えておくとスムーズです。

#### 補足

効き脳診断<sup>®</sup>とは？

脳が無意識に反応する思考のクセ(4タイプ)を把握するテストです。自分と他者の強み弱みを把握することで、①自己の成長、②他者とのコミュニケーションの質の向上、さらには③チームとしての成果向上に役立てることができます。